令和８年９月国見町教育委員会定例会 会議録

１　開会日時　　令和８年９月１６日（水）　午前９時５９分開会

２　招集場所　　国見町立県北中学校　会議室

３　出席委員

１番	高橋　幸子	教育長職務代理者
２番	志村　裕美	委員
３番	中村　裕美	委員
４番	菊地　貴雄	委員
５番	石幡　良子	教育長

４　説明のため出席した職員の職氏名

教育次長兼教育総務課長	宍戸　浩寿
教育施設課長	佐藤　智宏
生涯学習課長	実沢　隆之
企画調整課主任主査	大栗　行貴

５　書　記

教育総務課主幹兼総務係長	八島　章
教育総務課主任主査兼こども教育係長	蓬田　祐子

６　傍聴者　　なし

７　会議の成立

教育長から、教育委員半数以上の出席があり、会議が成立していることが告げられた。

８　会議録署名委員

教育長から、高橋幸子委員、菊地貴雄委員が会議録署名委員として指名された。

９　会期の決定

教育長から、会期は本日１日としたい旨の発言があり、これについて諮ったところ、全員に異議なく、そのとおり決定された。

１０　会議録の承認

教育次長兼教育総務課長から、令和８年８月定例会会議録について説明があった後、教育長からその承認の可否を諮ったところ、全員に異議なく、これを承認することに決定された。

１１　教育長報告

(1) 教育長出席会議等について

教育長から、出席会議等について別紙により報告があった。要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・伊達地区中学校英語弁論大会

県北中学校の3年生3人が、暗唱の部に2人、創作の部に1人出場した。3人はいずれも自ら出場を希望し、夏休み中も練習を重ね、大きな声と身振りを交えて堂々と発表した。県大会出場には至らなかったものの、自ら挑戦してやり遂げた経験は、今後につながる価値あるものであったとの感想が述べられた。

・県北中学校吹奏楽部の活躍

県北地区中学校吹奏楽部にじいろコンサート及び伊達地区小中学校音楽祭における演奏について報告があった。部員12人という限られた人数の中、一人一人が自分のパートに責任と自信を持ち、実力の高さが伝わる演奏であった。伊達地区小中学校音楽祭では金賞を受賞し、10月7日の県大会出場が決定した。子どもたちの活躍と、その背景にある学校現場の指導に感謝したい旨の発言があった。

【質疑】

なし

(2) 9月議会定例会について

教育次長兼教育総務課長から、9月1日から11日まで開催された9月議会定例会のうち、教育委員会に関する一般質問、議案審議等について報告があった。要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・防災教育

渡辺勝弘議員から、防災教育をどのように行っているかとの質問があり、自ら判断して安全な行動を取る自助、周囲と助け合う共助、地域の安全に関わる態度を発達段階に応じて育むことが重要であること、各学校では学校安全計画や学校災害対応マニュアルに基づく学習、避難訓練、引渡し訓練等を実施しており、今後も命を守る行動につながる防災教育を推進する旨を答弁した。

・全国学力・学習状況調査の結果と対策

佐藤定男議員から、国見小学校及び県北中学校の調査結果、今後の対策並びにテレビ・スマートフォン等の利用に関する指導について質問があった。学力向上担当者への指導、各学校における結果の分析・活用、指導主事の学校訪問による授業改善を進めること、小学校では長時間利用が脳や心、健康面に及ぼす影響を指導し、中学校では情報モラルと適切な利用を継続して指導するとともに、家庭内ルールづくりを保護者に周知・啓発している旨を答弁した。

・小中学生の校外平和学習

佐藤孝議員から、名護市辺野古沖での校外学習中の海難事故、教育の政治的中立性、平和学習の必要性、戦争体験者等との対話及び戦争遺構等の現地学習について質問があった。校外活動の安全管理を徹底すること、客観的事実に基づき多様な見方に触れながら児童生徒が主体的に考え判断する力を育むこと、対面講話に加えてオンライン交流や記録映像等も含めた方法を検討すること、現時点では移動を伴わず全員が等しく学べる校内での効果的な平和教育を推進する旨を答弁した。

・議案等の審議

教育委員会の事務に係る点検評価報告を議会へ報告した。また、条例改正2件及び動産の取得に係る議案はいずれも原案のとおり可決された。教育委員会委員には鈴木昭夫氏を任命することについて議会の同意を得た。

・教育ビジョングッドデザイン賞受賞パッケージ

補正予算審議において受賞パッケージ料を計上する意義について質問があり、受賞した場合は国見町ならではの教育の付加価値を広く社会に示し、町民や子どもたちの誇りにつなげる機会になること、税金を費やす責任を自覚し、子どもたちの確かな成長という結果で価値を示していく旨を教育長が答弁した。

【質疑】

○志村委員

受賞パッケージとは、教育ビジョンのデザイン制作に関する費用なのか。グッドデザイン賞との関係や、費用に含まれる内容を確認したい。

●教育次長

グッドデザイン賞に応募し、一次審査及び二次審査を経て受賞した場合に、約18万2千円の受賞パッケージ料が必要となる。受賞しなかった場合は支出しない。教育ビジョンの見た目だけでなく、内容を含めて審査されるものである。

●八島主幹

グッドデザイン賞は幅広い分野を対象としており、今回は地域の取組として、冊子に加えて果樹の循環モデル等を評価対象に応募した。受賞パッケージには、受賞年鑑への掲載、ウェブサイトでの紹介、受賞祝賀会への招待、展示会への出展等が含まれる。自治体は、所定の更新手続を行うことで受賞マークを無償で使用できる。

●教育長

受賞がかなえば、国見町が地域とつながり、学びが循環する教育を目指していることを発信できる。受賞そのものを目的とせず、子どもたちが自分たちの町に自信を持てるよう、子ども版や概要版を作成し、一人一人の手元に届けたい。

○高橋委員

同様の応募例や受賞率は。

●八島主幹

個別の応募案件は公表されていない。全体では応募約5千件に対し受賞約千件である。教育計画・内容で全国初と表現する場合は、主催者が認定するものではないため、教育委員会において既往の受賞事例を確認した上で使用する。

午前 10 時 19 分、授業参観のため休憩した。県北中学校の授業を参観後、午前 11 時 11 分に会議を再開した。中村裕美委員は所用のため、再開前に退席した。

教育長から、授業に落ち着いて向き合う生徒の成長が感じられた一方、教員の説明が多い授業も見られたため、子どもに学びを委ねる授業への改善に向け、指導主事等とともに支援していきたい旨の発言があった。

１２　議案第１６号　国見町放課後児童健全育成事業条例施行規則の一部を改正する規則

教育施設課長から、別紙により説明があった。なお、説明の要旨は以下のとおり。

【説明要旨】

・改正の趣旨

通年的利用の場合に、月の初日から末日まで児童クラブを利用できなかった、又は利用しなかったときは、その月の負担金を徴収しないとする第 9 条を削除し、規則の内容を現在の運用に合わせるもの。

・現在の運用と改正内容

負担金は当該月の月末に口座振替で徴収しているため、月末までの利用状況を確認した後、利用がなかった者だけ口座振替を停止することは事務処理上困難である。年度当初の利用案内において、通年的利用が不要となった場合は速やかに利用辞退手続を行うよう周知している。第 9 条の削除に伴い、第 10 条から第 17 条までを 1 条ずつ繰り上げ、関係様式の引用条番号を整理する。繰り上げる各条の規定内容に変更はない。

【質疑】

なし

教育長から承認の可否を諮ったところ、全員に異議なく、原案のとおり承認された。

１３　協議・報告

(1) 専決処分の報告について

大栗企画調整課主任主査から、阿津賀志山防塁「西国見地区」の国史跡追加指定に係る意見具申について、別紙により報告があった。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・意見具申の概要

文化財保護法第 189 条の規定に基づき、国史跡への追加指定を受けるため、教育長から文部科学大臣へ意見具申を行った。阿津賀志山防塁は、阿津賀志山中腹から旧阿武隈川の氾濫原付近まで全長約 3．2 キロメートルに及ぶ史跡であり、今回は、これまで未指定であった西国見地区の追加指定を求めるもの。

・調査成果と今後の手続

西国見地区では令和3年から8年まで発掘調査を実施し、二重の堀と三重の土塁が明瞭かつ良好な状態で残ることを確認した。文部科学大臣から文化審議会に諮問され、同審議会の答申を経て追加指定される予定であるが、詳細な時期は未定である。本件は、教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則に基づき、企画調整課が事務を補助執行している。

【質疑】

なし

教育長から、国史跡への追加指定が実現することを期待したい旨の発言があった。

(2) 教育総務課報告

教育次長兼教育総務課長から、別紙により報告があった。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・伊達地区中学校英語弁論大会

8月27日、伊達ふるさと会館MDDホールにおいて開催され、県北中学校3年生が暗唱の部に2人、創作の部に1人出場した。

・伊達地区小中学校音楽祭

9月4日、伊達ふるさと会館MDDホールにおいて開催され、県北中学校吹奏楽部が審査部門で金賞を受賞した。10月7日にふくしん夢の音楽堂で開催される県大会に出場する。

【質疑】

なし

(3) 生涯学習課報告

生涯学習課長から、別紙により報告があった。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・地域学校協働本部事業及び図書館事業

8月23日に親子でかんたんおやつづくりを実施し、3組7人が参加した。8月26日から教員OBによる高校入試対策講座を開始し、15人が登録した。9月5日の子ども司書講座・活動では、POPづくりと移動図書館50周年記念イベントに向けた話合い等を行った。

・スポーツ事業

8月26日に文化・スポーツ活動等激励金交付式を行い、全国大会等に出場する3人に激励金を交付した。市町村対抗軟式野球大会では棚倉町と対戦し、3対11で惜敗した。国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会には61人が参加した。町民ハイキング「天元台」の参加者は、資料記載の10人を22人に訂正した。

・青少年育成町民会議及び今後の予定

9 月 4 日に奨励金交付式を開催し、空手道、ソフトボール及び軟式野球の全国大会、東北大会、県大会に出場する児童生徒及びチームへ奨励金を交付。今後は、子ども移動図書館 50 周年記念イベント、高校入試対策講座、国見っ子わんぱく広場等を予定している。

・観月台文化センター屋根改修工事

9 月 11 日の町議会定例会において工事請負契約が議決された。開館から 32 年が経過し、雨漏りにより施設利用に支障が生じていることから、既存屋根を覆うカバー工法により、センター棟及びホール棟の計 4,335 平方メートルを改修する。工期は令和 8 年 9 月 11 日から令和 9 年 3 月 14 日まで、受注者は町内の株式会社渡辺建設である。工事期間中は足場を設置するため、利用者の安全確保に努める。

【質疑】

なし

(4) その他

【市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会の共有】

○志村委員

英会話力向上のグループでは、国見町における ALT や地域住民の授業参加、幼稚園・保育所から中学校までの英語活動について紹介した。他自治体では英検受検料を全額補助している例や、英検ジュニアも補助対象としている例があった。小中学校段階では、将来必要となったときに自ら学ぼうとするよう、まず英語への興味を持たせることが重要であるとの意見にまとまった。地域や企業にいる英語話者との交流も考えられる。

●教育長

英検補助は子ども議会でも提案された内容であり、次年度に向けて検討する必要がある。興味を持つことが、自ら学ぶ次の一歩につながる。

○菊地委員

不登校対策及びいじめ事案対応のグループでは、国見町の教育支援センター「ステップ」や校内支援センターの取組を紹介した。他自治体のスクールカウンセラー等の配置状況に加え、AI を活用して不登校等の予兆を把握する事例も紹介された。

●教育長

日々の気分等を入力するアンケートから心身の変化を早期に捉える取組が考えられる。国見町は、子どもの数が少ないからこそ、一人一人を大切にできる町であると感じる。

●教育長

中村委員からは、学力向上対策のグループで紹介された郡山市の寺子屋事業と、文部科学省の先取り研究校における取組について資料提供があった。子どもの主体性を育てる学びや、調整授業時数制度を活用して教育課程に余白を生み出す取組が紹介されている。国見町でも来年度、先取り研究校への応募を校長と検討しており、子どもが主体的に学ぶ時間を確保し、学力向上につなげたい。

【今後の日程】

・福島県市町村教育委員会連絡協議会伊達支会役員会

10 月 29 日（木）午前、伊達市役所において開催予定。

・10 月教育委員会

10 月 9 日（金）午前 10 時から、くにみ幼稚園において開催する。

・福島県市町村教育委員会連絡協議会県北ブロック研修会

10 月 14 日（水）午後 1 時 30 分から、福島市立松陵義務教育学校において開催される。教育長から、今後の国見町の小中学校の在り方を考える上でも有意義な研修となるため、参加を検討してほしい旨の発言があった。

教育長から、志村委員は今回が最後の定例会出席となるため、これまでの協力に対する感謝が述べられた。

１４　閉　　会　　午前１１時５６分閉会